

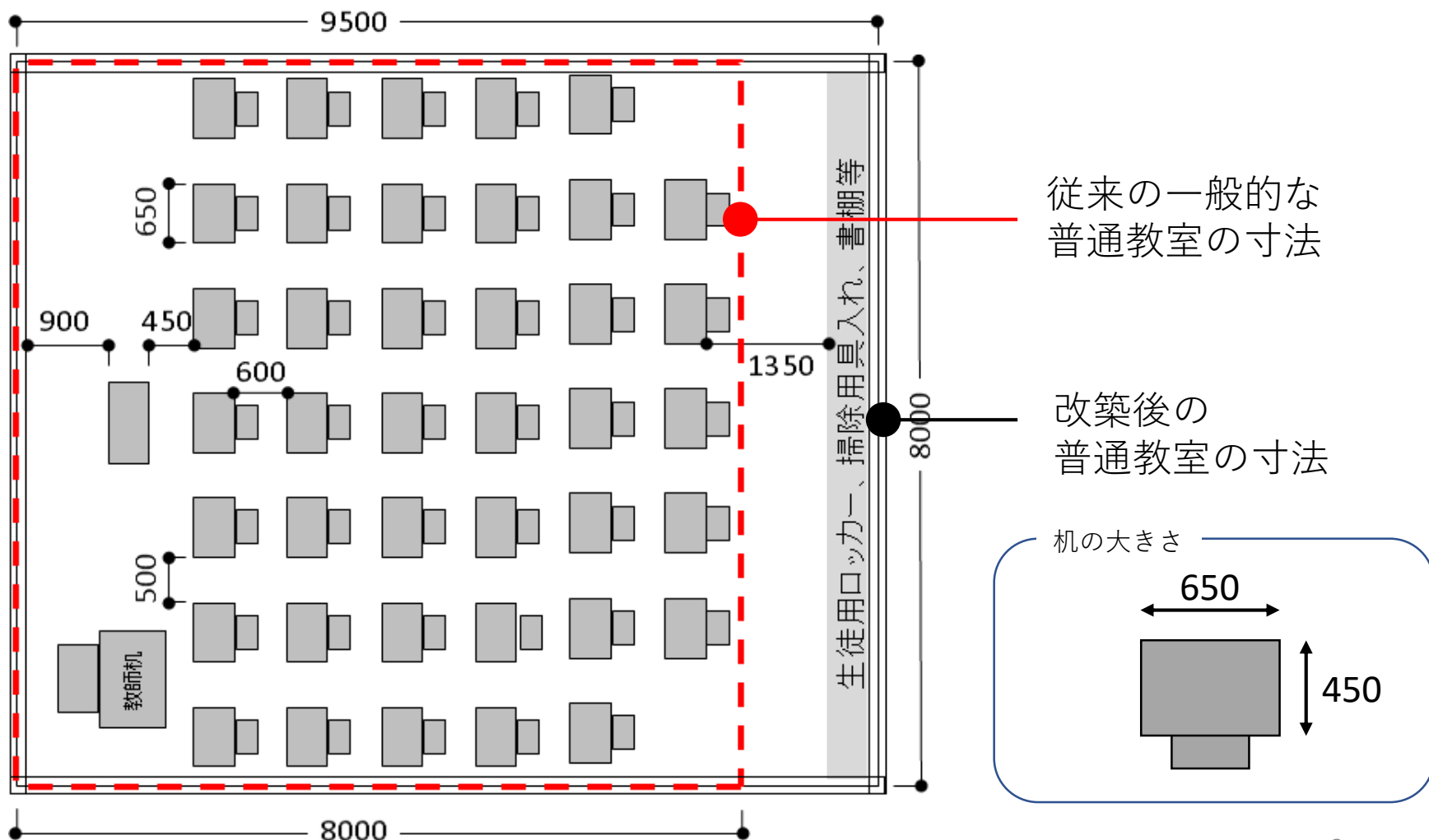
第五中学校 各室・スペースの整備方針について

～「武蔵野市学校施設整備基本計画」より～

諸室・施設の面積基準
配置
空間構成・仕様等

1 コマの寸法

新校舎の普通教室 1 室分 $8\text{m} \times 9.5\text{m}$ 、 76m^2



地域性について

防犯 連携 開放 防災

■ 防犯への対応

- 施設への出入りを管理できるよう敷地内や建物内および外部からの見通しを確保し、機械警備設備・防犯カメラ・門扉の電子錠等を用いた不審者の侵入を抑制することができる計画とするとともに、諸室間の連絡が容易となるよう内線電話網および緊急事態発生時に活用できる通報システム等を設置します。
- さらに、保護者や地域住民等と協議を重ねたうえで学校や地域の特性に応じた防犯対策および事故防止対策を計画します。

■ 地域連携

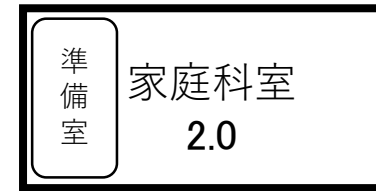
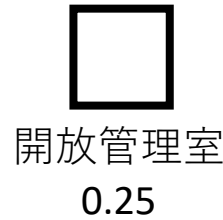
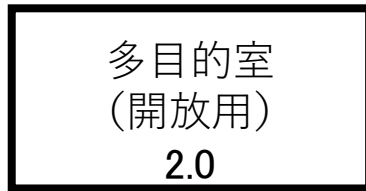
学校・家庭・地域の連携・協働を支える施設

保護者、地域住民等が学校の運営や教育活動を支援する取組などについて、学校と連携・協働し、チーム学校として円滑に活動できるように、PTA室、多目的室（開放用）などを整備します。

■ 開放

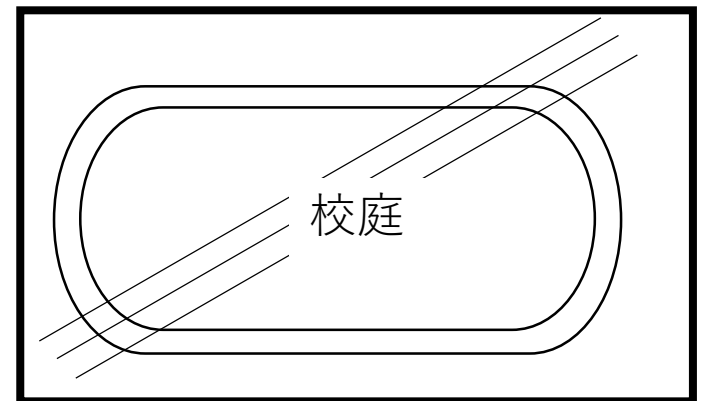
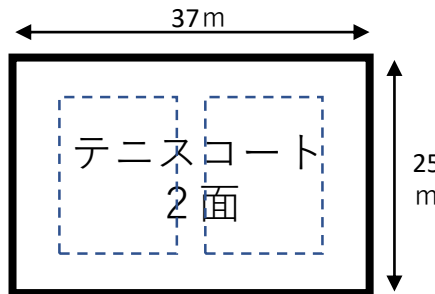
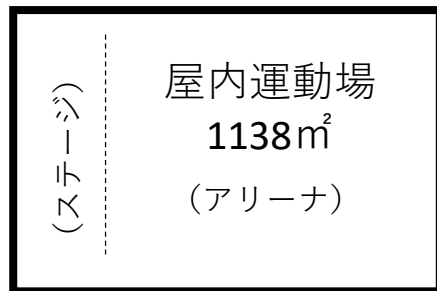
「学校開放（多機能化）のための施設環境の整備」

校庭、屋内運動場、多目的室（開放用）、家庭科室（調理室）は、当初より施設開放を想定し、防犯対策を実施し安全性を確保したうえで、地域住民が積極的に利用できるよう、様々な利用者に配慮した、快適、健康、安全で利用しやすい施設とします。同時に、開放管理室を設置し、学校との管理区分を分離するなど、学校開放の運営と維持管理が行いやすい施設となるよう計画します。



避難所としての利用を想定した配置ランチルーム、和室、ラウンジ機能を兼用災害時に避難所の一部（おもいやりルーム）として使用することを想定した機能整備

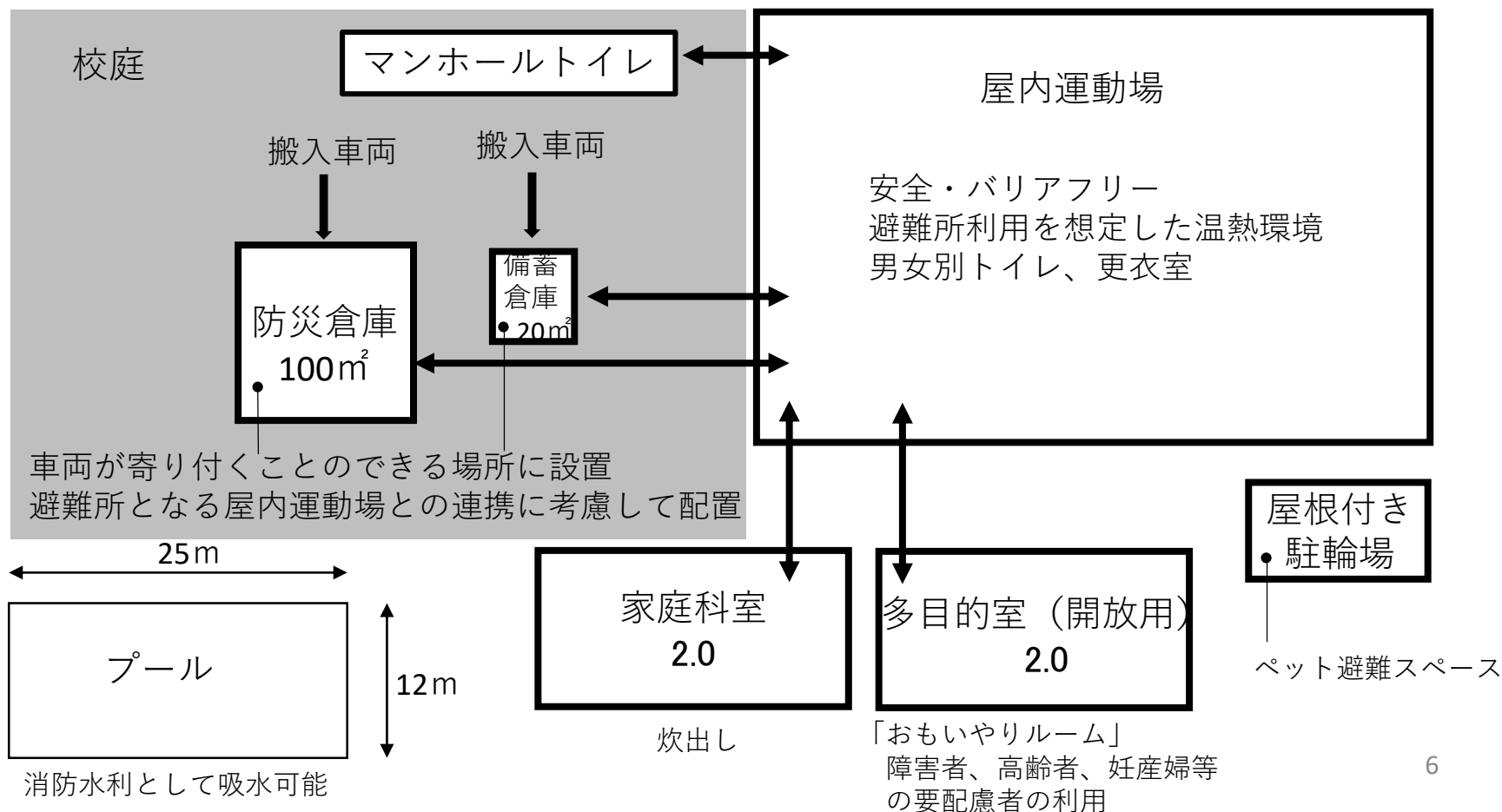
施設開放、行事、災害時の炊出し



防災

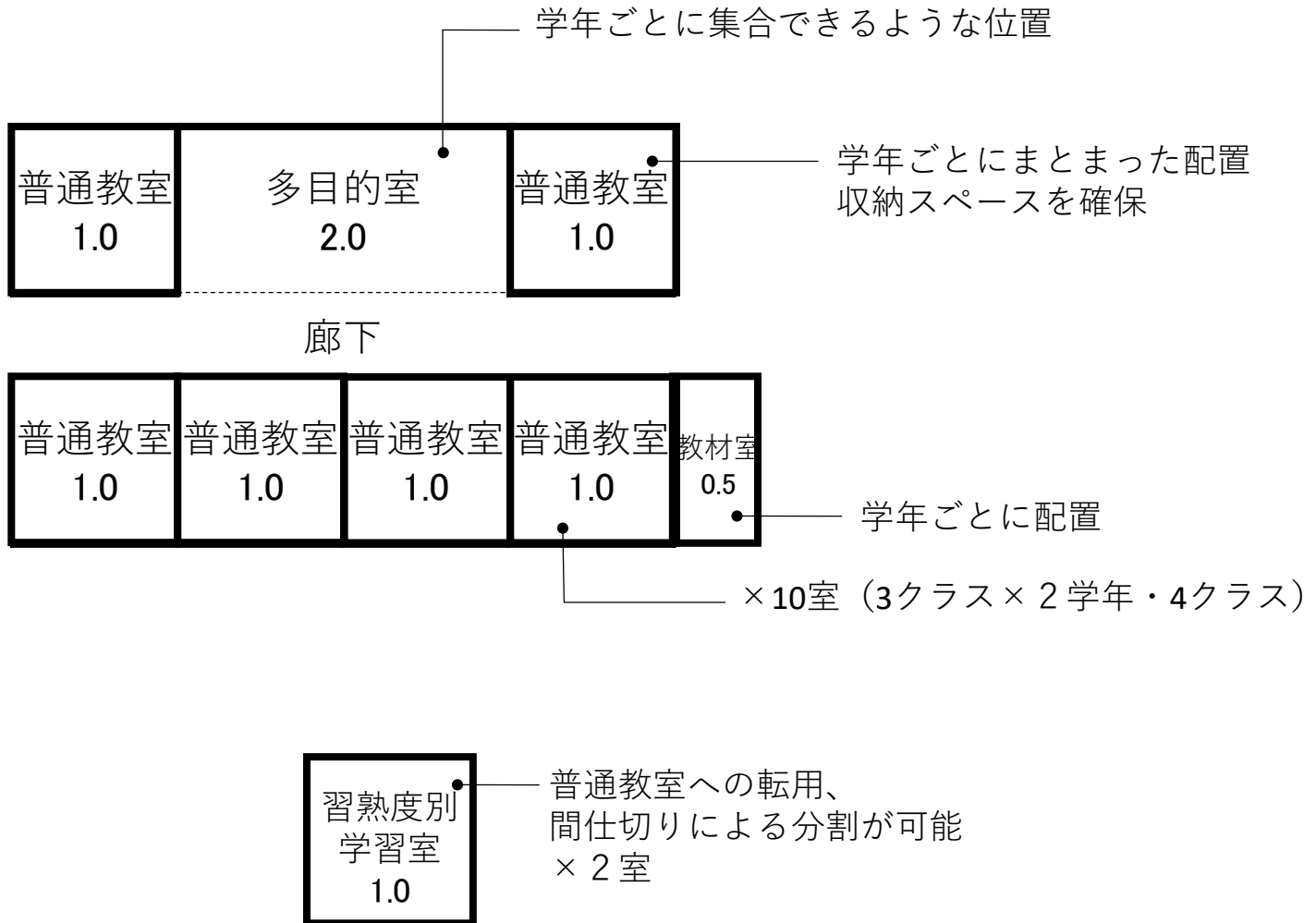
「地域の避難所となる施設」

- 校庭、屋内運動場、プール、多目的室（開放用）、家庭科室（調理室）は、『武蔵野市地域防災計画』に規定される避難所として必要な機能を満たし、障害者、高齢者、妊産婦等の要配慮者の利用、および災害時の炊き出しの実施も想定し施設を計画します。
- 教育活動の早期再開が可能となるよう配慮します。



教育活動關係諸室 参考

■ 普通教室



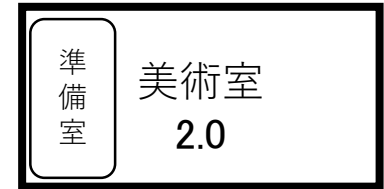
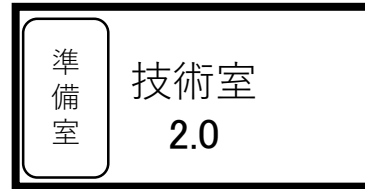
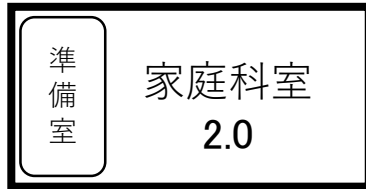
■ 特別教室



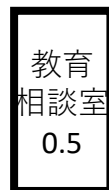
直射日光・屋外作業空間へ連続



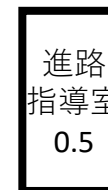
楽器の運搬（屋内運動場、外部）



施設開放、行事、災害時の炊出し

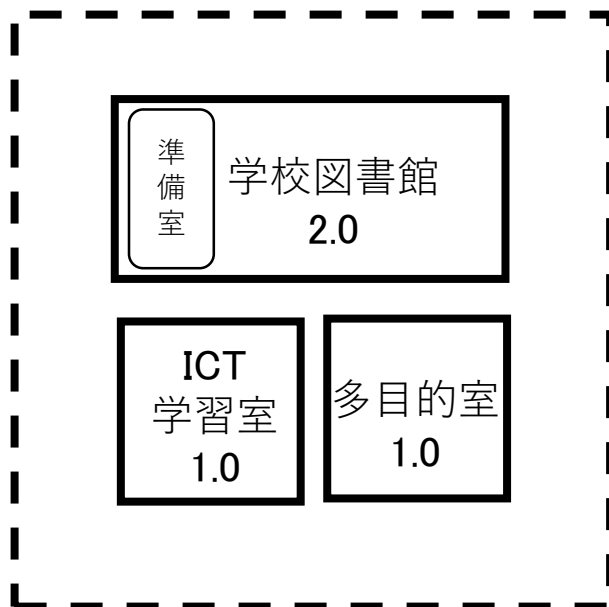


保健室と近接
周囲に気兼ねなく出入りできる



周囲に気兼ねなく出入りできる

■ ラーニング・コモンズ



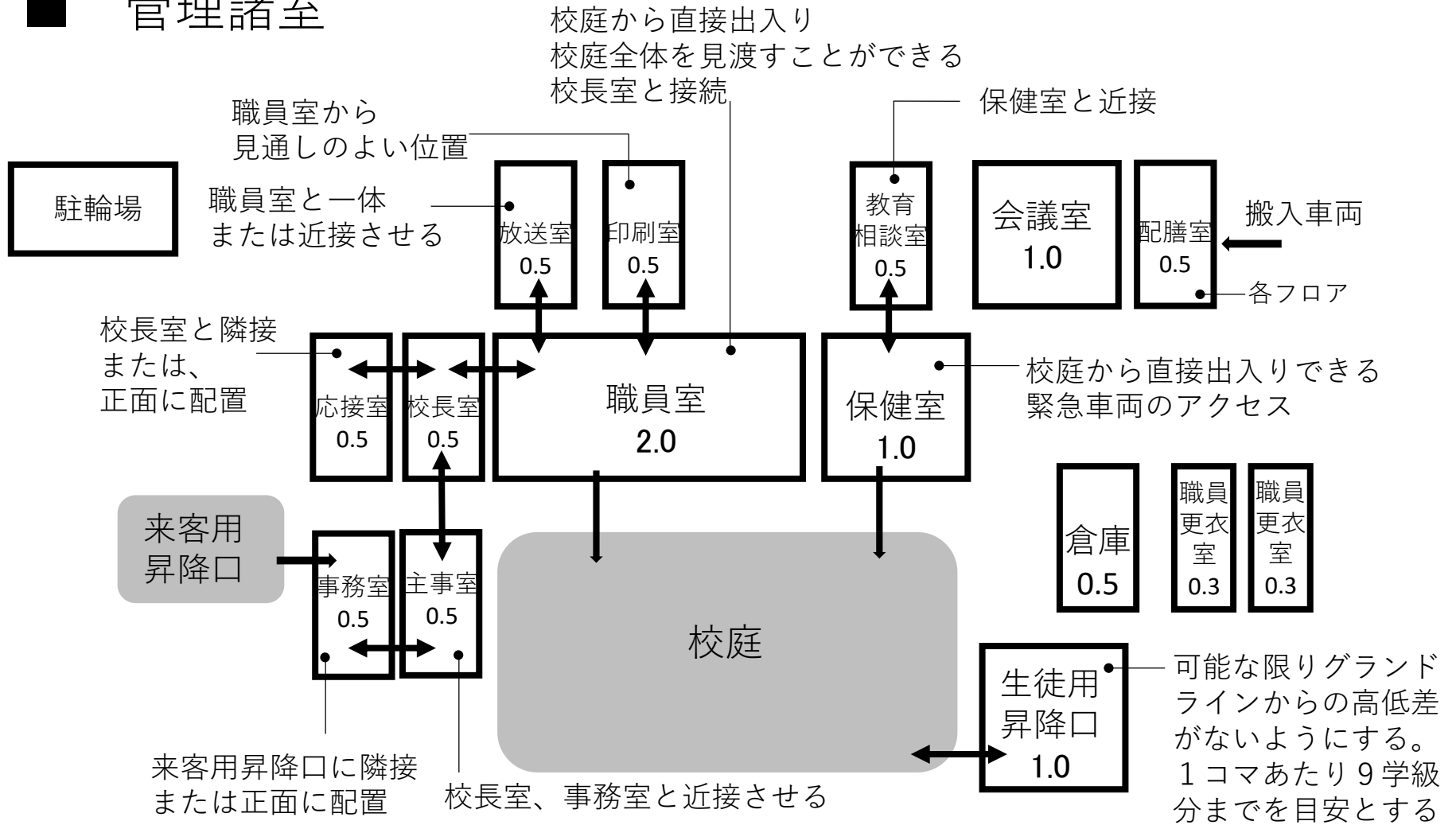
一体として配置 “ラーニング・コモンズ”

全ての学年が利用しやすい場所に配置

各々の機能を別の学級が同時に使用できるように間仕切りや遮音に配慮

個人学習が可能な自習スペースを整備

■ 管理諸室

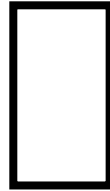


■ 共用部 床面積全体の40%程度

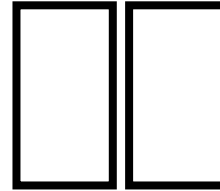
- ・エレベーターを設置
- ・トイレは和便器を設置しない
- ・多目的トイレを各階に設置

■ その他

生徒会室
0.5

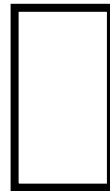


生徒用更衣室
 0.5×2 室

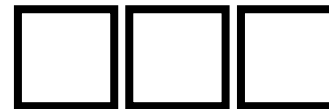


■ 特別支援

特別支援教室
(プレイルーム)
0.5

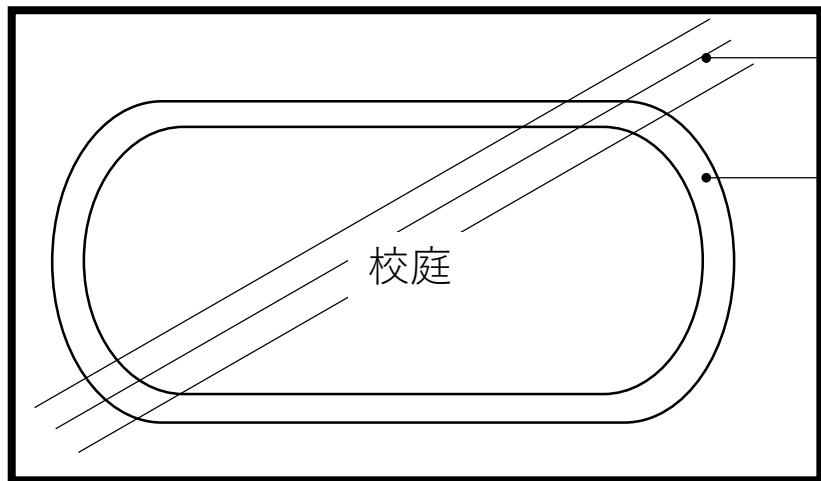


特別支援教室
(指導教室)
 0.25×3 室



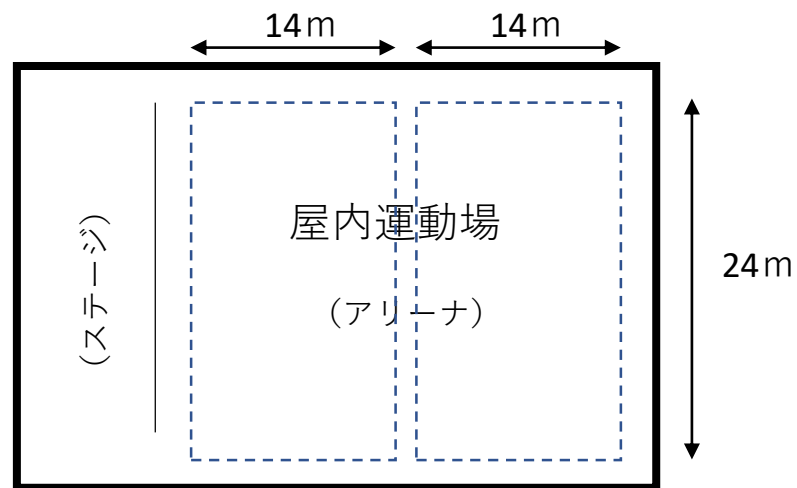
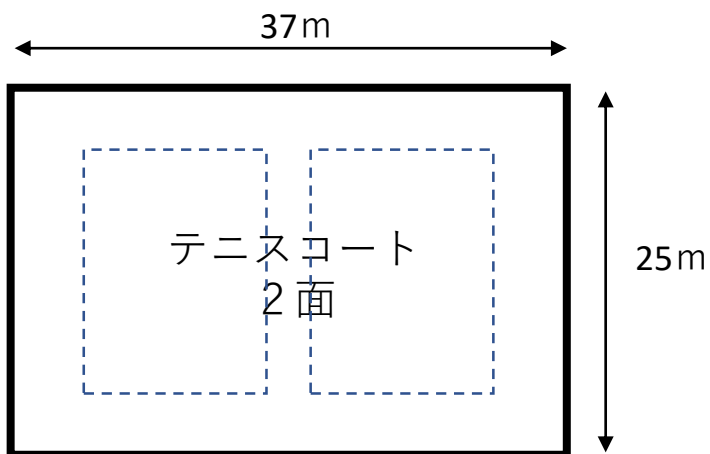
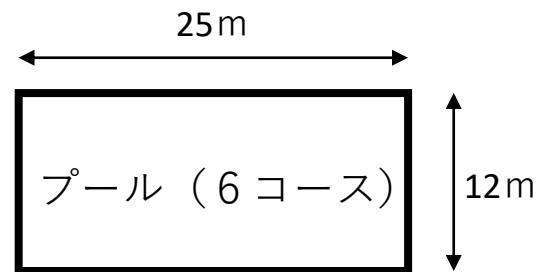
周囲に気兼ねなく出入りできる

運動施設



50 m以上の直線走路

周囲150 m以上のトラック



アリーナ 1面あたり 2展開の授業が可能
武道場はアリーナで兼用
避難所利用を想定した温熱環境、トイレ、更衣室を確保